

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-113	高等学校	地理歴史科	歴史総合	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
81 山川	歴総 081-903	わたしたちの歴史 日本から世界へ 改訂版		

1. 編修の基本方針

教育基本法第2条第1号「幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。」に留意した点

- ・近現代の歴史について、焦点を絞った48のテーマに分け、日本と世界の歴史を関連付けながら叙述することで、「幅広い知識と教養を身に付け」ることができるよう留意した。
- ・各テーマの冒頭に、テーマを学習する中で考えたい「テーマ全体の問い」を設けることで、学習の目的を明確にした。また、図版・文字資料・地図などに関連した「資料の問い」を設けることで、資料に関する考察を促すようにした。これらの問いの設定によって、「真理を求める態度を養う」ことができるよう留意した。
- ・物事の因果関係や相互の関連についての理解を深める資料を多数掲載し、当時の人々の考えや出来事の歴史的な背景を考察できるよう工夫した。また「考えてみよう！」では、重要なテーマを別途叙述し、各テーマに関する問いを設定した。これらの学習を通して、「豊かな情操と道徳心を培う」ことができるよう留意した。

教育基本法第2条第2号「個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。」に留意した点

- ・「近代化への問い」「国際秩序の変化や大衆化への問い」「グローバル化への問い」では、生徒が主体的に学習に取り組めるように、取り上げる資料を厳選した。48のテーマ中にある「テーマ全体の問い」や「資料の問い」も含め、生徒自身がみずから歴史的な見方・考え方を働かせる活動を促すことで、「個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う」ことができるよう留意した。
- ・とくに第1部や第2部において、社会の変化と職業・生活の変化を関連付けて叙述したり、労働者がどのような権利を主張してきたかを叙述したりすることで、「職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養う」ことができるよう留意した。

教育基本法第2条第3号「正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神

に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。」に留意した点

- ・とくに第2部や第3部において、地域紛争、男女格差や性的少数者などについて叙述した。また第2部の「いまの私たちにつながる課題 歴史のなかで女性は？」では、権利の視点から男女の違いに焦点を当てた。これらの学習を通して、「正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる」ことができるよう留意した。
- ・第3部の「14 現代世界の諸課題」「15 日本の諸課題」や各部の「いまの私たちにつながる課題」において、現代における課題を認識し、それを踏まえて将来を考える活動をおこなうことを通して、「公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う」ことができるよう留意した。

教育基本法第2条第4号「生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。」に留意した点

- ・戦争の惨禍や、開発による自然・環境破壊について叙述し、資料や問いを用いて、それらが人々に与える影響の大きさに気付くことができるよう留意した。また第3部の「いまの私たちにつながる課題 地球は、そして私たちは、どこへ向かうのだろうか?!」では、とくに環境問題に焦点を当て、世界的な環境問題への取り組みの経過や現状について扱い、これから取り組むべき課題について考える活動をおこなうことができるように工夫した。これらの学習を通して、「生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う」ことができるよう留意した。

教育基本法第2条第5号「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。」に留意した点

- ・各テーマで使用した文化財の史料などが国内の博物館や美術館などの所蔵であった場合、所蔵先が分かるよう明示して、地域的にも資料が身近に存在することを認識できるよう工夫し、「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する」ことができるよう留意した。
- ・第3部の「考えてみよう! 日本の政府開発援助」や「考えてみよう! 国連平和維持活動」で、世界の国々の協力の必要性を理解できるよう工夫し、「他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う」ことができるよう留意した。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭資料 歴史の舞台	*「巻頭資料 歴史の舞台」では、世界の各地域の風土や気候、前近代の歴史を、地図や図版を通して概観し、「幅広い知識と教養を身に付け」ることができるようにした(第1号)。	p. 4~13
歴史の扉1 歴史と私たち 学校の歴史	*「歴史の扉」では、生活や身近な諸事象と日本や日本周辺地域及び世界の歴史との関連性に気づくように、「学校」について記述	p. 14~15

<p>歴史の扉 2 歴史と資料 学校給食の歴史</p>	<p>した(第1号)。 *「歴史の扉」では、生徒にも身近な「学校給食」について取り上げ、主体的な学習を促すため、歴史を考察するための資料の解釈について具体的に例示した(第2号)。</p>	<p>p. 16~17</p>
<p>第1部 近代化と私たち 近代化への問い ①交通と貿易／②産業と人口／③権利意識と政治参加や国民の義務／④学校教育／⑤労働と家族／⑥移民</p> <p>1 結びつく世界 2 18世紀の世界とアジア 3 産業革命 4 アヘン戦争と日本 5 日本の開国 考えてみよう！ 江戸時代 6 日本開国期の国際情勢 7 開国後の日本社会 8 市民革命と国民統合 考えてみよう！ 国民国家と多民族国家 9 明治維新 10 富国強兵と文明開化 11 日本の明治初期の外交 考えてみよう！ 琉球と蝦夷地 12 大日本帝国憲法の制定 13 日本の産業革命と日清戦争 14 帝国主義 15 日露戦争と韓国併合</p> <p>いまの私たちにつながる課題 自由・制限／対立・協調</p>	<p>*「近代化への問い」では、「労働」(第2号)、「男女の平等」(第3号)などに関する資料を多数掲載し、生徒自身がみずから歴史的な見方・考え方を働かせる活動を促すよう工夫した(第2号)。</p> <p>*アジア諸国とその他の国・地域との関係の変化について扱う中で、伝統と文化、交流について関心が高まるよう配慮した(第5号)。 *産業革命によって産業が発達した一方で、労働問題や環境問題が生じたことが理解できるよう配慮した(第4号)。</p> <p>*国民国家や立憲体制の形成、帝国主義の特徴などに関する叙述の中で、主体的に社会の形成に参加する意識(第3号)や、他国を尊重する態度(第5号)を養うことができるよう配慮した。</p> <p>*第1部の「いまの私たちにつながる課題」では、自由・制限、対立・協調を取り上げた(第2号・第3号)。</p>	<p>(p. 18~65) p. 20~25</p> <p>p. 26~29、32~41 p. 30~31</p> <p>p. 42~61</p> <p>p. 62~65</p>
<p>第2部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 国際秩序の変化や大衆化への問い ①国際関係の緊密化／②アメリカ合衆国とソ連の台頭／③植民地の独立／④</p>	<p>*「国際秩序の変化や大衆化への問い」では、「正義と責任」(第3号)、「生命」(第4号)、「文化」(第5号)などに関する資料を多数掲</p>	<p>(p. 66~117) p. 68~73</p>

<p>大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化／⑤生活様式の変化</p> <p>1 大衆運動の芽ばえ 2 第一次世界大戦 3 第一次世界大戦と日本 4 ロシア革命とその影響 5 社会運動の広がり 6 国際協調 7 アジアの民族運動 8 大衆社会の到来</p> <p>考えてみよう！ 大衆文化としてのスポーツ、野球 考えてみよう！ 大衆文化としての映画</p> <p>9 世界恐慌 10 独裁勢力の台頭 11 日本のアジア侵出 12 第二次世界大戦 13 第二次世界大戦と日本 14 第二次世界大戦の終結 15 戦後国際秩序 16 冷戦の始まり 17 日本の戦後改革と日本国憲法 18 日本の独立</p> <p>いまの私たちにつながる諸課題 統合・分化／平等・格差</p>	<p>載し、生徒自身がみずから歴史的な見方・考え方を働かせる活動を促すよう工夫した(第2号)。</p> <p>* 第一次世界大戦前後の国際関係の変化や、第一次世界大戦の影響などに関する叙述の中で、生命を尊ぶ態度(第4号)や、国際社会の平和に寄与する態度(第5号)を養うことができるよう配慮した。</p> <p>* 戦間期の世界や日本の社会に関する叙述の中で、当時の文化について関心が高まるよう配慮した(第5号)。</p> <p>* 第二次世界大戦前後の世界情勢や、戦争の惨禍、戦時下の人々の生活、戦後の国際秩序、日本の戦後改革などに関する叙述の中で、生命を尊ぶ態度(第4号)や、国際社会の平和に寄与する態度(第5号)を養うことができるよう配慮した。</p> <p>* 第2部の「いまの私たちにつながる課題」では、統合・分化、平等・格差を取り上げた(第3号・第5号)。</p>	<p>p. 74～87</p> <p>p. 88～93</p> <p>p. 94～113</p> <p>p. 114～117</p>
<p>第3部 グローバル化と私たち グローバル化への問い</p> <p>①冷戦と国際関係／②人と資本の移動／③高度情報通信／④食料と人口／⑤資源・エネルギーと地球環境／⑥感染症／⑦多様な人々の共存</p> <p>1 第三世界の登場 2 冷戦の固定化と「雪どけ」 3 冷戦の展開</p>	<p>* 「グローバル化への問い」では、「自然」「環境」(第4号)などに関する資料を多数掲載し、生徒自身がみずから歴史的な見方・考え方を働かせる活動を促すよう工夫した(第2号)。</p> <p>* 冷戦下の国際関係に関する叙述の中で、国際社会の平和に寄与する態度を養うことができるよう配慮した(第5号)。</p>	<p>(p. 118～163)</p> <p>p. 120～127</p> <p>p. 128～135、 138～141、148 ～151</p>

<p>4 55年体制と安保闘争 5 高度経済成長の光と影 6 ベトナム戦争とアメリカ 7 経済構造の変化 8 日本の経済大国化 考えてみよう！ 日本の政府開発援助 9 アジアの経済成長 10 社会主義の停滞と新自由主義 11 冷戦の終結 12 冷戦後の地域紛争 考えてみよう！ 国連平和維持活動 13 地域統合 14 現代世界の諸課題 15 日本の諸課題</p> <p>いまの私たちにつながる課題 開発・保全</p>	<p>*経済発展とともに、公害や環境破壊が問題となったことについて取り上げ、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第4号）。</p> <p>*政府開発援助や国連平和維持活動、地域紛争、地域統合などに関する叙述の中で、世界の国々の協力の必要性を理解できるよう工夫し、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第5号）。</p> <p>*世界や日本における今日の課題を認識し、将来について考える活動をおこなうことを通して、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第5号）</p> <p>*第3部の「いまの私たちにつながる課題」では、開発・保全を取り上げた（第4号・第5号）。</p>	<p>p. 136～137、 142～143</p> <p>p. 144～147、152 ～157</p> <p>p. 158～161</p> <p>p. 162～163</p>
--	---	---

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・地図・グラフ類の作成においては、色覚の個人差を問わず、多くの生徒に見やすいようにカラーユニバーサルデザインに配慮し、読み取りやすい表現方法での作図を心掛けた。
- ・本文やキャプションで使用した文字のフォントについては、文字のかたちがわかりやすく、読み間違いがおこりにくいユニバーサルデザインに対応した「UD書体」を採用した。
- ・インターネット上に教科書ポータルサイトを設け、用語の解説、4択問題形式でテーマの内容を確認する問題、様々な地域の年表を比較して参照できる年表、動画などの一覧を参照できるようにして、より深い学びにつなげられるようにした。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-113	高等学校	地理歴史科	歴史総合	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
81 山川	歴総 081-903	わたしたちの歴史 日本から世界へ 改訂版		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色① 1テーマを見開き2ページで構成し、授業時間数の中で無理なく学べる教科書

- ・全体を3部構成、48テーマに分け、1テーマを見開き2ページとし、標準単位数2単位で無理なく学習できるようにした。
- ・内容については、できる限り精選して本文の分量を抑え、歴史の大きな流れがつかめることを主眼において叙述・編修した。

特色② わかりやすさを追求した教科書

- ・各部の扉に該当する「近代化」「国際秩序の変化や大衆化」「グローバル化」では、これから学ぶ内容について各部での時代の特徴が簡潔に理解できるよう導入文を設けた。また、扉には各部を象徴するような写真・図版を配置し、視覚的にも理解できるようにした。
- ・本文は主述のつながりや前後の文のつながりを重視し、できるだけ平易かつ簡潔な叙述となるよう心がけた。
- ・各テーマの冒頭に、テーマを理解するための発問を付し、本文を読むうえでの視点や考えたい事柄を示し、学習の目的が明確になるようにした。
- ・いずれのテーマも、本文や資料・図版・問いかけをシンプルにレイアウトした。
- ・図版・地図・表はできる限り大きくし、視覚的に理解できるよう見やすくした。
- ・本文中には図版番号を付し、本文と対応する図版や資料が一目でわかるようにした。
- ・歴史資料はより読解しやすいように、一部を除いて現代語訳とした。
- ・歴史用語に限らず解説が必要と思われる用語については、学習の際に生徒の読解の助けとなるよう巻末に用語解説を付した。
- ・振り仮名や参照ページなども充実させ、生徒が自主的かつ積極的に学習できるよう工夫した。
- ・本書の内容に合致した詳細な巻末年表を付し、学習の便宜を図った。

特色③ 主体的・対話的で深い学びのための教科書

- ・各部の導入に該当する「近代化への問い」「国際秩序の変化や大衆化への問い」「グローバル化への問い」

では、それぞれにキャラクターによる会話文等を設け、より課題や疑問を設定しやすくできるよう工夫した。

- ・いずれのテーマも、図版・地図・表などの資料にアプローチするための簡単な問いかけを付し、歴史的な見方・考え方を身に付け、考察したり表現したりすることができるよう工夫した。
- ・各テーマの資料については、写真・絵画・風刺画・ポスター・新聞記事・統計資料（グラフ）・地図・文字資料（条文・演説など）・模式図・イラストなど、様々な種類の資料を豊富に取りあげた。
- ・インターネット上に教科書ポータルサイトを設け、動画を参照して、より深い学びにつなげられるようにした。

そのほかの工夫

- ・歴史事象が地理的な環境のうえに展開してきたことを理解するために、地理的な見方や考え方を養えるよう、冒頭に巻頭資料として「歴史の舞台」を設けた。
- ・「考えてみよう！」と題した特集ページを7つ設け、本文の内容をよりいっそう深く考察できるよう、重要なテーマを別途叙述し、テーマに関する問いを設定して、学習が進められるよう工夫した。
- ・各部のまとめとなる「いまの私たちにつながる課題」では、これまでの学習を通して身近な現代の課題の解決を視野に入れて構想できるよう構成を工夫した。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
歴史の扉 1 歴史と私たち 学校の歴史	A 歴史の扉 (1) 歴史と私たち	(p. 14～17) p. 14～15	1
歴史の扉 2 歴史と資料 学校給食の歴史	(2) 歴史の特質と資料	p. 16～17	1
第1部 近代化と私たち ●近代化への問い ①交通と貿易／②産業と人口／③権利意識と政治参加や国民の義務／④学校教育／⑤労働と家族／⑥移民	B 近代化と私たち (1) 近代化への問い	(p. 18～65) p. 20～25	2
1 結びつく世界	(2) 結びつく世界と日本の開国	p. 26～27	1
2 18世紀の世界とアジア		p. 28～29	1
3 産業革命		p. 30～31	1
4 アヘン戦争と日本		p. 32～33	1
5 日本の開国		p. 34～35	1
考えてみよう！ 江戸時代		p. 36～37	1
6 日本開国期の国際情勢	(3) 国民国家と明治維新	p. 38～39	1
7 開国後の日本社会		p. 40～41	1

8 市民革命と国民統合 考えてみよう！ 国民国家と多民族国家		p. 42～43	1
9 明治維新		p. 44～45	1
10 富国強兵と文明開化		p. 46～47	1
11 日本の明治初期の外交		p. 48～49	1
11 日本の明治初期の外交 考えてみよう！ 琉球と蝦夷地		p. 50～51	1
12 大日本帝国憲法の制定		p. 52～53	1
13 日本の産業革命と日清戦争		p. 54～55	1
14 帝国主義		p. 56～57	1
15 日露戦争と韓国併合		p. 58～59	1
●いまの私たちにつながる課題 自由・制限／対立・協調	(4) 近代化と現代的な諸課題	p. 60～61	1
		p. 62～65	2
第2部 国際秩序の変化や大衆化と私たち	C 国際秩序の変化や大衆化と私たち	(p. 66～117)	
●国際秩序の変化や大衆化への問い ①国際関係の緊密化／②アメリカ合衆国とソ連の台頭／③植民地の独立／④大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化／⑤生活様式の変化	(1) 国際秩序の変化や大衆化への問い	p. 68～73	2
1 大衆運動の芽ばえ	(2) 総力戦と社会運動	p. 74～75	1
2 第一次世界大戦		p. 76～77	1
3 第一次世界大戦と日本		p. 78～79	1
4 ロシア革命とその影響		p. 80～81	1
5 社会運動の広がり		p. 82～83	1
6 国際協調		p. 84～85	1
7 アジアの民族運動		p. 86～87	1
8 大衆社会の到来		p. 88～89	1
考えてみよう！ 大衆文化としてのスポーツ、野球		p. 90～91	1
考えてみよう！ 大衆文化としての映画		p. 92～93	1
9 世界恐慌	(3) 経済危機と第二次世界大戦	p. 94～95	1
10 独裁勢力の台頭		p. 96～97	1
11 日本のアジア侵出		p. 98～99	1
12 第二次世界大戦		p. 100～101	1
13 第二次世界大戦と日本		p. 102～103	1
14 第二次世界大戦の終結		p. 104～105	1
15 戦後国際秩序		p. 106～107	1

16 冷戦の始まり		p. 108～109	1
17 日本の戦後改革と日本国憲法		p. 110～111	1
18 日本の独立		p. 112～113	1
●いまの私たちにつながる諸課題 統合・分化／平等・格差	(4) 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	p. 114～117	2
第3部 グローバル化と私たち	D グローバル化と私たち	(p. 118～163)	
●グローバル化への問い ①冷戦と国際関係／②人と資本の移動／③高度情報通信／④食料と人口／⑤資源・エネルギーと地球環境／⑥感染症／⑦多様な人々の共存	(1) グローバル化への問い	p. 120～127	2
1 第三世界の登場	(2) 冷戦と世界経済	p. 128～129	1
2 冷戦の固定化と「雪どけ」		p. 130～131	1
3 冷戦の展開		p. 132～133	1
4 55年体制と安保闘争		p. 134～135	1
5 高度経済成長の光と影		p. 136～137	1
6 ベトナム戦争とアメリカ	(3) 世界秩序の変容と日本	p. 138～139	1
7 経済構造の変化		p. 140～141	1
8 日本の経済大国化		p. 142～143	1
考えてみよう！ 日本の政府開発援助		p. 144～145	1
9 アジアの経済成長		p. 146～147	1
10 社会主義の停滞と新自由主義		p. 148～149	1
11 冷戦の終結		p. 150～151	1
12 冷戦後の地域紛争		p. 152～153	1
考えてみよう！ 国連平和維持活動		p. 154～155	1
13 地域統合		p. 156～157	1
14 現代世界の諸課題		p. 158～159	1
15 日本の諸課題		p. 160～161	1
●いまの私たちにつながる課題 開発・保全	(4) 現代的な諸課題の形成と展望	p. 162～163	3
		計	70